

在宅医療の
取り組み紹介八戸自由大学講座
小倉院長が講演

八戸自由大学の第96回講座が27日、八戸市の吉田産業本社ビルで開かれた。同市の「ほちのへファミリークリニック」院長の小倉和也さんが「家庭医療と在宅医療の普及に向けて」これからの八戸のために」と題して講演。患者が住み慣れた地域で安心して療養できる体制整備に向けた市内の取り組みなどを紹介した。

小倉さんは在宅医療について「本人が在宅

講演する小倉和也さん（左）



明。

在宅医療

は入院などと並ぶ選択肢の一つ、と前置きした上で「もし本人が希望した場合に、日本全国どこでも対応できる環境を整えていかなければいけない」と強調。在宅医

での療養を希望する意思が前提にあり、その療を担う医師の育成も重要だとした。

上で必要な医療や介護サービスの確保、介護する家族の協力が必須。医療と介護の連携も欠かせない」と説いた。

（渡部優）